

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	救助技術訓練中(障害突破)において、垂直梯子降梯時に墜落した事例。
3. 体験した事例の中心的要素	障害突破の垂直梯子登梯訓練を、15m垂直梯子を使用し地上高7mの位置までのタイム計測しながら隊員5名で順次実施していたところ、3回目を終了した隊員が降梯時に誤って両手を滑らせて安全マット上に墜落、弾みでアスファルト上に落下し左踵を強打し受傷したものの。
4. 体験した事例の原因・理由	隊員の不安定行動、不注意。訓練及び訓練施設への慣れ。

【体験した事例の直接的な原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成26年12月9日 午前11時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：訓練施設(15m垂直梯子)
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	軽傷の怪我
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	墜落・転落
7. 事例体験時の活動	演習訓練、[救助(大会に向けた)]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他：垂直梯子登梯訓練
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[39]歳、勤続年数[18]年、現場経験年数[18]年、階級[消防士長] 同様の活動 [頻繁]、任務 [その他:分隊長]
○当事者B	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[] 同様の活動 [], 任務 []
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[] 同様の活動 [], 任務 []
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生時の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	訓練開始。(タイム計測は実施せず、5名の隊員で順次、垂直梯子登梯訓練。)	
経過2	当事者A	タイム計測。(垂直梯子を7mの位置まで順次実施。)	
経過3	当事者A	3回目のタイム計測を終了し、降梯時に誤って手を滑らせて墜落。	
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



- 事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思えるか？
- ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

集中力、注意力がなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	はい
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

・消防本部
安全管理体制の見直し、再構築及び安全管理研修の実施。
訓練を含む消防活動体系の各部署、各署所の連携強化。
・署所
所属長及び安全管理者を含むすべての職員の安全管理に対する再認識と相互連携の再強化。

○装備・資機材の対策について

・消防本部全体
常時において、訓練を含む活動全般にわたる訓練施設、訓練使用資器材の点検、報告及び不備箇所の改修体制。

○活動環境の対策について

・消防本部全般
「安全管理は自己防衛が第1」が原則の再認識、再教育。
活動全般にわたる、不安定要素及び危険要素の排除。
活動内容における危険要素の周知徹底。
安全管理者配置体制の安全確保及び安全配慮義務の再教育。

○指揮・情報伝達の対策について

状況図

